

第4回旭川駅周辺かわまちづくり懇談会 議事要旨

日時：令和5年2月15日(水) 18:30～20:10

場所：旭川市職員会館2階2・3号室

出席者：7名（出席者名簿のとおり）

議題：前回懇談会の振り返り，パブリックコメントの結果報告，かわまちづくり計画書について，今後の進め方について

1. 議事

(1) 前回懇談会の振り返りについて

事務局(旭川市)から前回懇談会の概要等の説明を行い，参加者の了承を得た。

(2) パブリックコメントの結果報告について

事務局(旭川市)からパブリックコメントの概要・結果の説明を行い，参加者から以下の発言があった。

【進行役】

パブリックコメントの件数は，施策の注目度と関係するののか。

【事務局(旭川市)】

旭川市の他部署でもパブリックコメントを実施しているが，施策の内容によって市民の関心の度合いが異なるので，評価しづらい。

(3) かわまちづくり計画書について

事務局(旭川市)からかわまちづくり計画書の説明を行い，参加者から以下の発言があった。

【参加者A】

計画書の表紙は，旭岳，JR旭川駅前のビルやホテル，クリスタル橋等が写っている旭川らしいアングルの写真が望ましい。

【事務局(旭川開発建設部)】

UAV（無人航空機）で撮影した写真を確認し，表紙について再考したい。

【進行役】

流水面に接する親水広場は堤防の一部になるののか。堤防内に樹木がある場合，河川管理上の問題はなにか。

【事務局(旭川開発建設部)】

堤防ではなく、親水広場はさらに川に面した箇所になるため、樹木があっても問題ない。なお、河岸に下りる部分には低水護岸を敷設して、その上に通路の整備を想定している。

(4) 今後の進め方について

事務局(旭川市)から今後の進め方に関する説明を行い、参加者から以下の発言があった。

【参加者 A】

将来的にはフルシーズンの利活用を捉えた計画に発展してほしい。降雪後のスキー場オープン時期に合わせて冬のアクティビティがスタートできれば、雪を体感したくて訪れる人たちに応えられると思う。コース整備等、観光協会をはじめとする関係者が一体となって、冬のシーズンでも喜んでもらえるようなアクティビティをできるだけ長い期間開催できると良い。

【事務局(旭川市)】

かわまちづくり計画の中で冬のアクティビティプランの設定を位置付けており、既存事業の充実・拡大に向けた議論を展開できると良い。JR 旭川駅南側を中心に、スノーシューやファットバイク、雪だるま作りといったアクティビティをできることから少しずつ取り組んでいくことも大切だと思うので、関係機関との連携を図りながら取組を進めたい。

【参加者 B】

次年度開催予定の「旭川駅周辺かわまちづくり検討会」には、旭川市と旭川開発建設部も参画し、参加者から出たソフト施策等に関する推進方策の実施可否を判断し、最終的に検討会の中で取りまとめるという認識で良いか。

【事務局(旭川市)】

その認識で良い。

【参加者 C】

先日あさひかわ北彩都ガーデンで開催されたイベントに、大雪カムイミンタラ DMO から雪板を提供した。スノーボードと違いビンディングは不要で、斜面があれば誰でも滑ることができるため、特に子どもに大人気だった。今後の検討会において、雪板体験も魅力のあるアイテムの一つとして紹介できると良い。

【参加者 A】

雪のない地域から来た人にとっては、ソリ滑り体験を提供するだけでも感動が随分違うと思う。JR 旭川駅周辺にアクティビティ向けの斜面等の環境を整備するのは本当に大事なこと。

【進行役】

今後は外国人観光客の回復に向けて、インバウンド向けの方策も考えておく必要があると思う。

【事務局(旭川市)】

かわまちづくり計画の中にインバウンドに関する記載はしていないが、外国人観光客が利用し

やすい外国語表記等の視点を取り入れた対応をしていきたい。

【参加者D】

観光客だけでなく、地元の方への周知もある程度必要になると思う。例えば、小中学生の総合的な学習の時間を活用したワークショップでアクティビティメニューの検討などを行い、子どもたちが自分たちで考えた案が採用されることで励みになり、更に保護者等の大人も含めた幅広い世代に知ってもらい良いきっかけになると思う。周知の意味でも、楽しいアクティビティをいろいろ考えられる良い機会になるのではないかと思う。

【進行役】

旭川の将来を支える子どもたちの記憶に残るようなかわまちづくりになればいいと思うので、そういった視点でも具体化してほしい。

【参加者E】

まず、この計画が地元でどれだけ浸透するかが重要。地元の人がイベントに参加できて、旭川市内の多くの人知ってもらうための努力がこれから必要になってくる。年代によってアプローチの仕方が変わってくると思うが、ホームページやアプリ等を活用したPRを進め、より良いイベントを開催することによって、集客も増えると思う。

【参加者F】

環境教育の推進に当たり、教職員の先生方も忙しいので、自分から率先するというよりも受動的な感じになると思う。こちらから働きかけて、具体的な内容を先生方に提案した方が環境教育をうまく進められると思う。

【進行役】

本日いただいた意見は、今後開催する検討会の中で活かしていくということで良いか。また、今後国土交通省との事前ヒアリング等の調整において、かわまちづくり計画書を修正する可能性があるが、その際は、進行役である私と事務局に一任していただくということでよろしいか。

※異議なし

【事務局(旭川市)】

皆様との意見交換を経て作成させていただいたかわまちづくり計画書については、令和5年5月に国土交通省に登録申請を行い、順調に行けば9月までに採択される見込みである。令和5年度は、ソフト施策に関する詳細な事業展開や具体的・効果的な取組に関する意見交換の場として、「旭川駅周辺かわまちづくり検討会」の開催を予定している。

皆様には、改めてこれまでのお力添えに感謝申し上げますとともに、「かわ」と「まち」が一体となった賑わいづくりに、今後ともご理解とご支援をお願いしたい。

以上